

ギラン・バレ症候群(GBS)調査票

1. 臨床症状	① 以下の臨床症状について該当項目を全て選択	
	☐ 両側性かつ弛緩性の上肢や下肢の筋力低下(発現日 平成・令和 年 月 日)	
	☐ 筋力低下を来した上肢や下肢における深部腱反射の低下または消失	
2. 疾患の経過	② 報告時点までの、症状の極期におけるHughesの機能尺度分類 (当てはまるものを一つ選択)	
	☐ 0:正常	
	☐ 1:軽微な神経症候を認める	
3. 電気生理学的検査	☐ 2:歩行器、またはそれに相当する支持なしで5mの歩行が可能	
	☐ 3:歩行器、または支持があれば5mの歩行が可能	
	☐ 4:ベッド上あるいは車椅子に限定(支持があっても5mの歩行が不可能)	
4. 髄液検査	☐ 5:補助換気を要する	
	☐ 6:死亡	
	☐ 不明	
5. 鑑別診断	☐ 単相の疾患パターンを有し、筋力低下の発現から最悪の状態までの間隔が12時間から28日間であって、その後臨床的安定期を迎えた (報告時点までの内容を元に選択)	
	☐ その他()	
	☐ 不明	
6. 画像検査 (磁気共鳴画像診断(MRI)撮像)	☐ 実施	検査日(平成・令和 年 月 日)
	☐ 実施	細胞数 ()/μL 糖 ()mg/dL 蛋白 ()mg/dL
	☐ 実施	蛋白細胞解離あり(検査室正常値を超えるCSF蛋白質レベルの上昇および、50細胞/μLを下回るCSF総白血球数)
7. その他	☐ 実施	蛋白細胞解離なし
	☐ 未実施	
	☐ 不明	
8. 備考	☐ 実施	検査日(平成・令和 年 月 日)
	☐ 実施	該当項目を全て選択
	☐ 実施	脊髄灰白質病変
9. 医師のコメント	☐ 実施	馬尾の造影病変
	☐ 実施	その他 部位()
	☐ 実施	所見()
10. 医師の署名	☐ 未実施	
	☐ 不明	
	☐ 不明	

